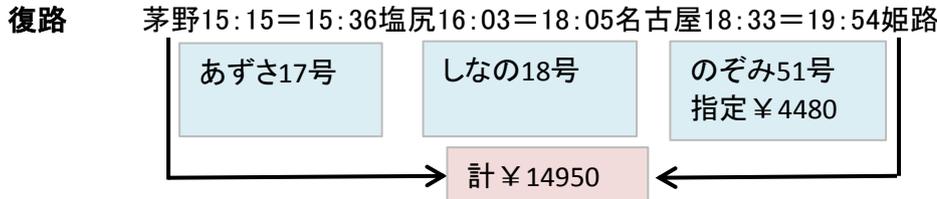
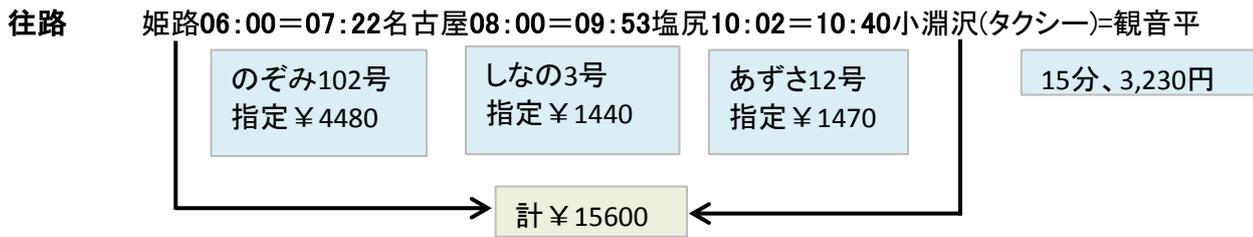
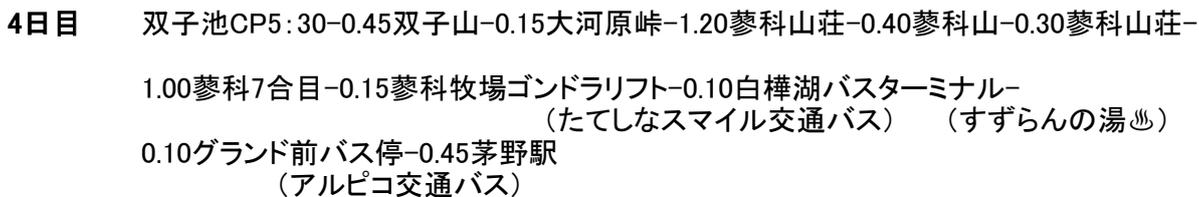
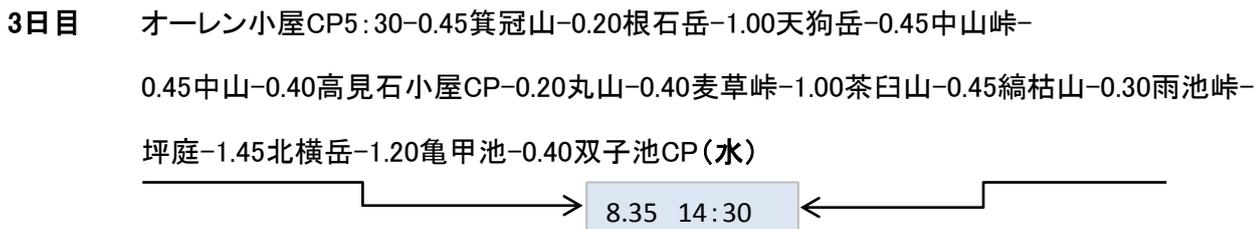
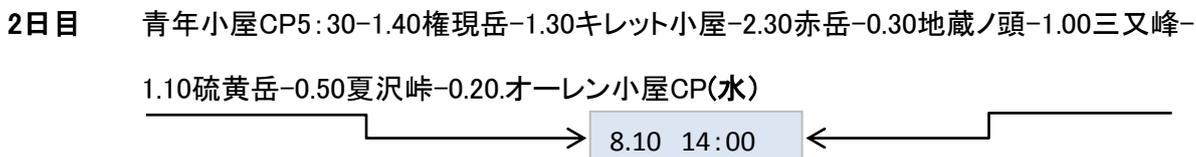


八ヶ岳縦走計画書



蓼科高原スキー場 Gondolaリフト(¥520) = 蓼科牧場=(たてしなスマイル交通バス)=白樺湖BT…(徒歩10分)…
 グランド前BS=(アルピコ交通バス)=茅野
 ※たてしなスマイル交通 蓼科牧場から白樺湖バスターミナルまで200円
 ※アルピコ交通・上諏訪駅～茅野駅線 グランド前から茅野駅1000円
 「蓼科高原ラウンドバス」もある



* 縦走時間は山と高原地図参照なので、もっと短縮は出来るがのんびりと写真を撮りながら歩く

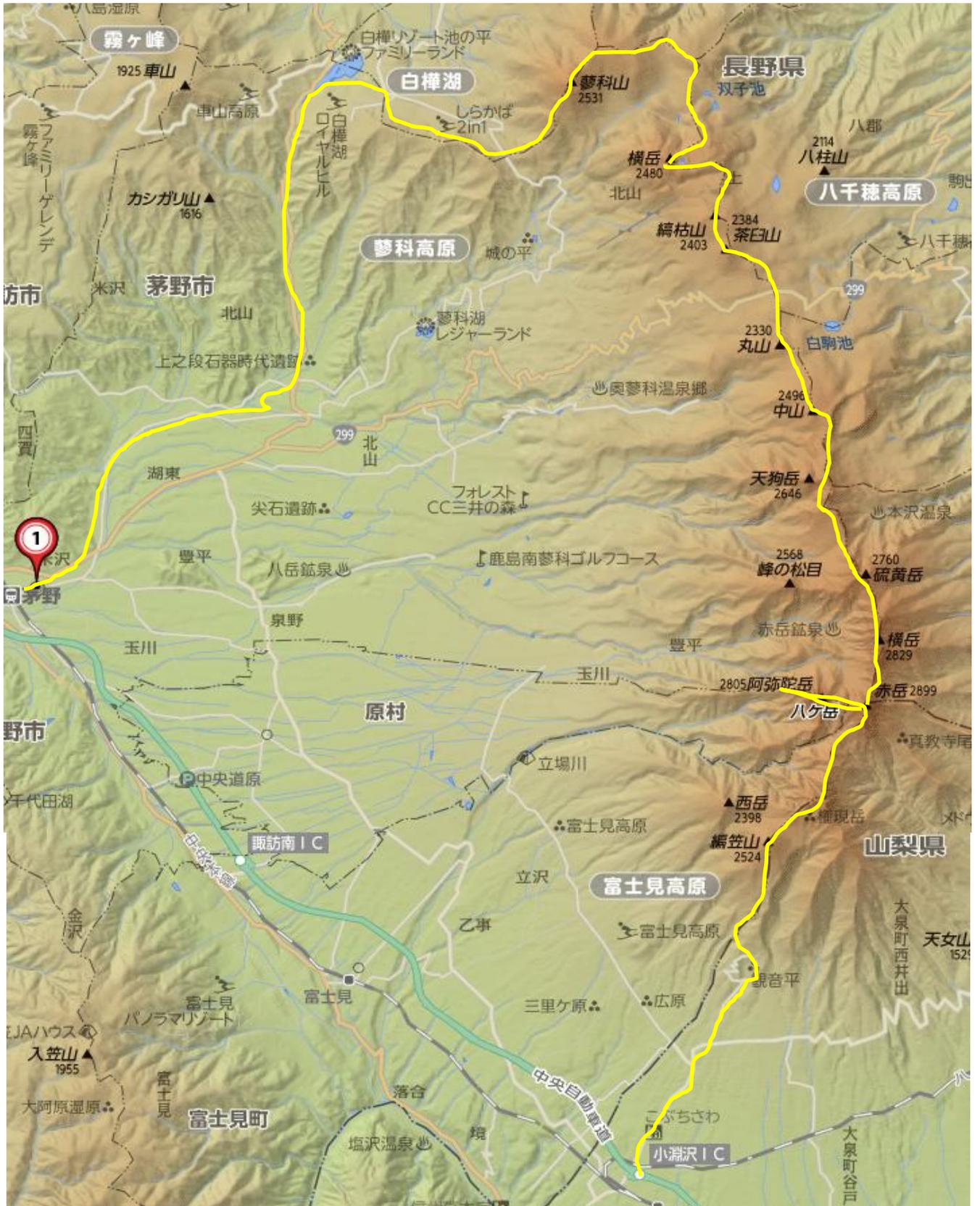
注意点

権現岳付近、キレット～赤岳、赤岳～阿弥陀岳、赤岳～横岳(台座ノ頭)が岩稜帯鎖場、ハシゴ多数。特にキレット～赤岳は脆い岩が多いため、三点支持で確実に

中山峠以北は、樹林帯が大きな石が多く、泥濘が多いので石の上を渡り歩く…スパッツ必須

双子池キャンプ場は、亀甲池側から行くと、雌池をぐるっと巡ってヒュッテまで行って受付を済ませるテントは雌池の周りにしか張れず、「双子池キャンプ場」の看板よりヒュッテ側には張る場所がない先にテントを張ってから、水筒と財布を持ってヒュッテに行き、お金払って水汲むのが効率が良い水場は「雄池」そのものが水場。※雄池の水は飲用専用なので、汚れたカップなどは入れられない

蓼科山以降もゴーロ帯が続く



日程 2017/08/01(火)

1日目

18650歩 沿面距離 4.8km

天候 晴

累積標高差 1161m

メンバー 大塚賢一62歳、石野美輝郎68歳、大本誠一38歳、

ルート 観音平～雲海展望台～押出川～編笠山2523m～青年小屋CP

八ヶ岳は、日本列島を東西に分断するフォッサマグナの中央にあって約200万年前から一万年まえにかけて南北に噴火を重ねて出来た火山列である。編笠山から蓼科山まで約25km、東西に約15kmと範囲は広い。

標高2000m以上の頂が10以上あり、多い頂という意味で八ヶ岳と言われる。夏沢峠を境に北と南を分けそれぞれを北八ヶ岳、南八ヶ岳と呼ばれる。

約20万年前に推定標高約3400mの古阿弥陀岳が山体崩壊を起こし、その後の西岳、権現岳、網笠山の噴火と溶岩流で南八ヶ岳の現在の形が作られた。火山活動が北八ヶ岳と比べて新しいために急峻な岩稜地帯が多いのが特徴である。

計画通りに新幹線、JR、タクシーを乗り継ぎ屋前に観音平に到着



南八ヶ岳

- 編笠山2524m
- 権現岳2715m
- 赤岳2899m
- 阿弥陀岳2805m
- 横岳2829m
- 硫黄岳2760m

夏沢峠で南北する

北八ヶ岳

- 天狗岳2646m
- 北横岳2473m
- 蓼科山2530m

観音平は、山梨県北杜市にある景勝地。八ヶ岳の編笠山への登山口でもある。編笠山登山口として整備されている。富士山や八ヶ岳の眺めが良く、新富嶽百景の一つである。武田信玄が矢の観音を奉祀したと伝えられている。



観音平からの登りはカラマツとクマザサの樹林帯が続き大岩の間を抜けると雲海展望台である。それからしばらくゆっくりと登るとコケに覆われた押出川に着く。ここから大岩のゴー口の急登であいいで編笠山山頂である



網笠山2524m 眺望はあいにくのガスガス 網笠山からハイ松とシャクナゲのトンネルをくぐり岩の道を下れば青年小屋である

日程 2017/08/02(水)

2日目

34801歩 沿面距離 11.2km

天候 晴

累積標高差 2854m

ルート

青年小屋-権現岳2715m-ツルネ-キレット小屋-赤岳2899m-地藏ノ頭-三叉峰2825m-横岳奥ノ院2829m
硫黄岳2760m-オーレン小屋CP

青年小屋5時起床…7時出発

青年小屋を後に、樹林帯を過ぎてガシタ岩場を越えてノロシ場に着く…朝一番の眺望に歓声が上がる
南アルプス連峰、富士山、槍穂高連峰などの山並みが雲上をつらぬき陽光を浴びている



網笠山の後ろに南アルプス連峰



天上を貫く富士山

ノロシ場から西ギボシは槍穂を思い出すような岩稜帯でしっかりとクサリも付いていて3点支持で登れば安心だ
西ギボシから東ギボシに続く岩稜トラバースを越えると権現小屋である…よくまあこんな場所に建てたものだと感心する
ここからの景色が一級品でこれから登る赤岳の岩稜の猛々しい勇姿が眼前に迫っている。

権現岳分岐でザックデポ…権現岳へアタック。分岐から長いハシゴを慎重に下り旭岳、ツルネへと向かう。
ツルネ南峰北峰の間にももの凄いコマクサの一大群生地帯がお目見えする…写真タイムで一服だ。



ギボシへの登り



中央の権現小屋と右に権現岳2715m



東ギボシより展望



権現岳山頂2715m





長いハシゴを下る



旭岳へと向かう



ツルネへ向かう



コマクサの一大群生地帯

権現岳から赤岳へ向かうルートは八ヶ岳連峰中最大の落差をもつキレットへの下りがあり、そこから赤岳山頂までの登りが岩稜のオンパレードで北アルプスを彷彿させるくらいに岩登り好きには楽しめるルートである。



キレット小屋



赤岳への岩稜帯へ突入



岩稜地帯に可憐に咲くヒメシャジン



岩稜帯の登り



岩稜トラバース



ホッと一息



ヤッホー



真教寺尾根、文三郎尾根の分岐



あともう少しだ



中岳と阿弥陀岳



赤岳山頂2899m 展望は残念ながらガスガス

南八ヶ岳の主稜線に突入だ…赤岳から地蔵の頭、三又峰、横岳奥ノ院、台座ノ頭、大ダルミ、硫黄岳と連なる。さすがに八ヶ岳主峰の赤岳とあって水曜日でも登山者は多い。赤岳頂上山荘から岩稜の急斜面を下ると赤岳展望荘に着く。次に地蔵の頭から二十三夜峰を右に巻くと一枚岩の急斜面…クサリを頼って下り、日ノ岳を右に巻いて鉾岳、石尊峰と岩稜を巻いたクサリ場が続く。東からの杣添尾根分岐の三又峰を過ぎて横岳奥ノ院…左下には小同心。そこから急な岩稜斜面をハシゴで下り、西面に移ってクサリ場を15m下って次に東面に移るとカニの横バイに入る…左下には巨大戦艦の先頭を思わず大同心が勇姿を現す。

傾斜も緩んで岩稜帯も無くなりホッとするころ…砂礫帯に日本一を誇るであろうコマクサ大群生地帯が台座の頭下に東西に現れて緊張の疲れが癒される。下った所に硫黄岳山荘…時間も13時半とあって八ヶ岳のカレーを頂くことにする…山小屋のカレーは疲れた身体にはこれが一番だ。

食事を終えて一服していると、なんと小学生軍団が押し寄せてきた…美濃戸から登ってきて、明日は横岳、赤岳をアタックして下山すると…小学一年生が大丈夫かいなと心配するが長野の子供たちはたくましい。



赤岳展望荘



二十三夜峰



大同心



日本一のコマクサ群生林



コマクサ



硫黄岳山荘にて



硫黄岳山荘から硫黄岳への登りは大ダルミと言うだけあって、だらだらの登りが続く・・・要所要所に巨大ケルンがあるのは冬季雪山でガスられても目印になるようにと積み上げられているのだろう。

山頂からの展望はやはりガスガスで白一色の世界である・・・今回はこのような景色だったが突然にガスの晴れ間が垣間見て太陽が天空から差し込みブロックンの妖怪が浮かび上がったのだが、今日は後光が刺しようもない天気だ。山頂からは夏沢峠に降りずに、西側の赤岩の頭分岐からオーレン小屋へ向かう。

ハケ岳の中心、標高2,330m稜線にほど近いしらびその樹林に囲まれた静かな山小屋。季節になると可愛い高山植物のオウレンの花が咲くことから名前が命名された。ハイマツとキバナシャクナゲ街道の沢道を程なく下っていきと植生が変わっていきシラビソの大木が自然淘汰して小木に変わっていく・・・苔むした森の中でフィトンチッドを身体一杯に受けながら下ると突然素晴らしいキャンプ場とオーレン小屋が出現した。



硫黄岳付近の巨大ケルン



ハイマツとキバナシャクナゲ街道



巨大シラビソから自然淘汰された若木のシラビソ帯



白いショウジョバカマとオウレンの花



キバナシャクナゲ



オーレン小屋



オーレンでの夜がふけてゆく

日程 2017/08/03(木)

3日目

48547歩 沿面距離 18km

天候 晴

累積標高差 3221m

ルート オーレン小屋-箕冠山2580m-根石岳2603m-東天狗岳2646m-中山峠-高見石小屋-丸山2330m-
麦草峠-茶臼山2384m-縞枯山2403m-雨池峠-縞枯山荘-坪庭-北横岳2480m-亀甲池-双子池CP

オーレン小屋4時半起床・・・6時出発

昨夜は夜中から集中豪雨・・・テントの入り口を多少開けていたものだから浸水状態になってしまった(>_<)。

しかし、みんなゴアのシュラフカバーをしているので問題はない。賢い雨で今朝には晴模様になりつつあり
今日も楽しんで山歩きができそうだ・・・今日は日程中で最も長丁場のコースである。

まずは朝露のシラビソ樹林帯を気持ちよくゆったりと登っていく。ほどなく樹林帯の展望のない箕冠山につく。
山頂から下っていくと、根石岳山荘が見えてくる・・・この光景は前回に来たときと同じだ・・・砂礫の平原に
コマクサに囲まれて西側に遠慮深そうに建っている。眼前には根石岳が聳えている、その左には東天狗岳・・・
ハイマツの緑に囲まれて朝の陽光に照らし出されて映えわたる山々の稜線・・・素晴らしいご褒美だ。



オーレン小屋からゆったりと箕冠山へ



左>東天狗岳 左下>根石岳山荘 右>根石岳

根石岳から東天狗岳への稜線は素晴らしく晴れ渡り展望もよくルンルン気分でコルの白砂新道分岐を過ぎ、
東天狗へ登りは少々急でヤセ尾根の岩稜やハシゴが渡してあるが問題のないトレッキングだ。

しかし東天狗に登ると、これから行く北方面は全くのガスガスを展望なしである・・・大岩のゴーロ帯が続き、
下りが滑りやすく非常に疲れる。西側には天狗の奥庭が見えるのだが、もうそこまでガスが上がって何も見えない。



西天狗岳と東天狗岳の稜線



東天狗岳から中山峠は巨大ゴーロ帯の下りでとても緊張する

中山峠からにゆう分岐までは昨夜の雨のために泥道になり歩きづらいが、周りは苔むした森が広がる。

にゆう分岐からは木道が敷き詰められて歩きやすくほどなく中山展望台へ・・・しかし展望台と言えどもガスガスで
なにも展望はなし・・・ザックを降ろしてしばらく小休止。



ぬかるんだ道



中山展望台で小休止

中山展望台からは再び巨岩のゴーロ帯のゆるやかな登りが続く。 ほどなく高見石小屋に到着する。ここは東の白駒池、西の渋ノ湯からの分岐地点となっていて山小屋も薪が積んでありと洋風のツアースキーのベースにもなっている。 丸山2330mへ15分ほどで登ると、麦草峠まで再び巨岩のゴーロ帯をひたすらに下っていくと、麦草ヒュッテに到着だ。ここで定番のカレーをいただく。 麦草ヒュッテは登山基地になっていて八ヶ岳を分断する国道299号が東西に走っていてシャトルバスも運行している。



大量のマキを積んだ高見石小屋



丸山の森…チシマシツポ苔が淘汰された木々を覆う…幻想的だ



ハクサンフウロなどの高山植物に囲まれた麦草ヒュッテ



国道299号を北へ横断して茶臼山、縞枯山へと登りが続く



中木場より…左側が茶臼山2384m



茶臼山も縞枯山2403mも樹林帯で展望なし

縞枯山から雨池峠へ降り進路を西にとって笹中の木道を歩いていくと縞枯山荘…北八ヶ岳ロープウェイで10分程で来れるとあって普段着姿が多い。北横岳2480mの分岐で坪庭周辺を散策(北横岳南峰の南側火口から溶岩が流れすり鉢状になった台地)…観光客が多い。



笹の平原に建つ縞枯山荘



溶岩の上に植物が生息する坪庭

坪庭から本日最後の登り…北横岳の南峰、北峰へ…なんと小学1年生の団体が引率に連れられて登ってきている…今夜は北横岳ヒュッテにでも泊るのだろう…元気一杯な子供たちだ。

北横岳からは湿った石やコケ、木の根に注意しながら約1時間ほどの亀甲池への激下りである…亀甲池は上から見ると池底が亀甲のまだら模様になっている。



北横岳への岩稜の登り



北横岳ヒュッテで小休止



北横岳北峰2480mからは蓼科山が煮えるのだがガスガスで残念



亀甲池

亀甲池から進路を東へとり今日の宿泊地の双子池ヒュッテキャンプ場とたどり着く。この池は雌池と雄池がありキャンプ指定地は雌池のほりとなっていて大変素晴らしい場所である。また、水源は雄池となっていて湧き水の池の水がそのまま飲料水となっている。



雄池のほとりにひっそりとたたずむ双子池ヒュッテ



雄池そのものが飲料水となっている



雌池の静かな湖畔のキャンプ場



マットを敷いてマッタリと時間を過ごす

日程 2017/08/04(金)

4日目

32498歩 沿面距離 18km

天候 晴

累積標高差 2247m

ルート 双子池-双子山2224m-大河原峠-將軍平-蓼科山2531m-蓼科山荘-蓼科7合目-蓼科 Gondolaリフト

昨夜はハケ岳へ入山して初めての満天の星空が拝めた。天の川、スバル、白鳥座など手に取るようだった。双子池4時半起床6時スタート。朝露に濡れた背丈ほどある笹をかき分けてホーロク平を過ぎて草原大地の双子山2224mへ登っていく。山頂は開けていて360度展望のご褒美である。



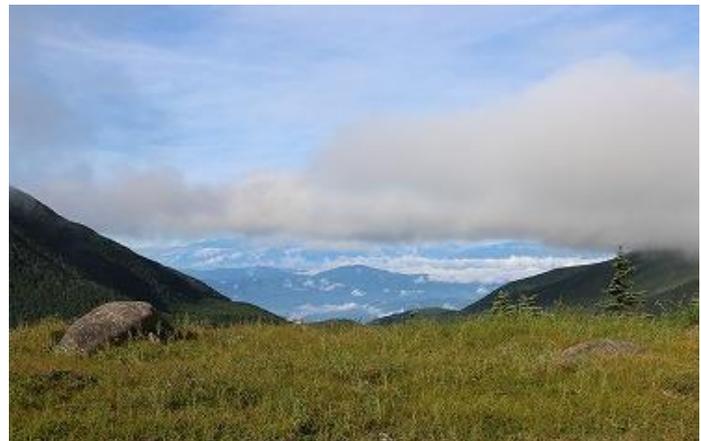
幻想的な双子池の夜明け



双子山から…浅間山の噴煙



大岳と北横岳の連なり



南アルプス連峰は早くも雲の中だ

双子山から大河原峠の駐車場まで笹原を下っていく。蓼科山へのアプローチも近いので登山者が準備をしている。ヒュッテ前からハケ岳最後の山…蓼科山2531mへアタック開始だ。開けた笹原からシラビソの針葉樹林帯に入りコケと石のゴロ帯になる。立枯れ帯では、林床に明るい日が差し込み木漏れ日がコントラストをかもしだしている。

テンポよく登っていくと佐久市最高地点の2380mの標識だ。少し下って立枯れ帯を過ぎた辺りで赤谷分岐にでる。正面に形のよい蓼科山が姿を現す。再び樹林の間を抜けると將軍平の蓼科山荘に着く。

ここにザックをデポして空身で巨大ゴロの岩場の急傾斜を30分ほど登り詰め、森林限界を超えると全方位に視界が広がり気分も高揚してくる。上部で左に曲がると蓼科山荘ヒュッテだ。前を通り過ぎて山頂に向かう。



大河原峠が見えてきた



大河原ヒュッテ前から入山する





シラビソ樹林に木漏れ日のコントラスト



蓼科山が姿を現す



蓼科山荘が中腹に小さく見える



山頂は広く扁平で一面に岩がゴロゴロしている



山頂中央には蓼科神社は祀られている



白樺湖と白樺高原

山頂から將軍平まで降りて山荘料理の山菜きのこラーメンをいただく・・・じつに美味しい。
將軍平から蓼科牧場ゴンドラリフト方面へ30分ほど下るとハケ岳全山縦走完結となる。万歩計を見てもよく歩いたものです。



ゴンドラ、バスを乗り継いでJR茅野へ・・・あずさ、しなの、新幹線と繋ぐのだが、木曽福島辺りの集中豪雨のためにしなのが南木曽で1.5時間ほど停止。名古屋でごった返して新幹線へ乗り継ぐ・・・帰宅22:30・・・お疲れさんでした～。